

平成 29 年 度

推薦入試学生募集要項

出願受付期間	平成 28 年 11 月 4 日 (金) ~ 平成 28 年 11 月 10 日 (木)
試験期日	平成 28 年 12 月 17 日 (土) (地域枠・一般枠) ※いずれかの枠を午前、もう一方を午後を実施します。 実施の順番については志願者数が確定後決定します。
合格者発表日	平成 29 年 2 月 8 日 (水)

奈良 教 育 大 学

※大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように略しています。

○ 国語 → 国

「国語」 → 「国」

○ 数学 → 数

「数学Ⅰ」 → 「数Ⅰ」、 「数学Ⅰ・数学A」 → 「数Ⅰ・数A」、 「数学Ⅱ」 → 「数Ⅱ」、 「数学Ⅱ・数学B」 → 「数Ⅱ・数B」、 「簿記・会計」 → 「簿」、 「情報関係基礎」 → 「情報」

○ 地理歴史 → 地歴

「世界史A」 → 「世A」、 「世界史B」 → 「世B」、 「日本史A」 → 「日A」、 「日本史B」 → 「日B」、 「地理A」 → 「地理A」、 「地理B」 → 「地理B」

○ 公民 → 公民

「現代社会」 → 「現社」、 「倫理」 → 「倫」、 「政治・経済」 → 「政経」、 「倫理、政治・経済」 → 「倫政経」

○ 理科 → 理

「物理基礎」 → 「物基」、 「化学基礎」 → 「化基」、 「生物基礎」 → 「生基」、 「地学基礎」 → 「地基」、 「物理」 → 「物」、 「化学」 → 「化」、 「生物」 → 「生」、 「地学」 → 「地」

○ 外国語 → 外

「英語(リスニングを含む)」 → 「英・英リ」、 「ドイツ語」 → 「独」、 「フランス語」 → 「仏」、 「中国語」 → 「中」、 「韓国語」 → 「韓」

目 次

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II. 推薦入試について	2
III. 推薦入試（地域枠）	
1. 募集人員及び推薦人員	3
2. 推薦の要件	3
3. 出願手続	4
4. 受験票の送付	6
5. 選抜方法	6
6. 配点	7
7. 試験期日と時間	8
8. 試験場	8
9. 受験についての留意事項	8
10. 合格者の発表	8
11. 入学手続等	8
12. 推薦による選抜に不合格となった場合の個別学力検査等の 受験を希望する者の取扱い	9
IV. 推薦入試（一般枠）	
1. 募集人員及び推薦人員	10
2. 推薦の要件	10
3. 出願手続	10
4. 受験票の送付	12
5. 選抜方法	12
6. 配点	13
7. 試験期日と時間	14
8. 試験場	14
9. 受験についての留意事項	14
10. 合格者の発表	14
11. 入学手続等	14
12. 推薦による選抜に不合格となった場合の個別学力検査等の 受験を希望する者の取扱い	15

別表 1	平成 29 年度大学入試センター試験の本学が指定する教科・科目等について (地域枠)	16
別表 2	面接の内容、評価の観点 (地域枠)	17
別表 3	実技検査の内容・評価の観点 (地域枠)	17
別表 4	平成 29 年度大学入試センター試験の本学が指定する教科・科目等について (一般枠)	18
別表 5	面接の内容、評価の観点 (一般枠)	18
V.	自己申告書の課題	19
VI.	障害を有する入学志願者との事前相談	19
VII.	留意事項等	20
VIII.	出願書類記入上の注意	21
IX.	コード表	28

(添付資料)

- 宛名票
- 入学志願者カード (地域枠用、一般枠用)
- 入学志願票 (地域枠用、一般枠用)
- 受験票・写真票・検定料納付確認票 (地域枠用、一般枠用)・大学入試センター試験成績請求票貼付票・音楽実技種目記入票 (音楽教育専修志願者のみ:地域枠)
- 推薦書 (地域枠用、一般枠用)
- 自己申告書 (地域枠用、一般枠用)
- 入学確約書 (地域枠用、一般枠用)
- 公的な受賞歴・競技会・コンクール等への参加歴及び公的な資格調書 (地域枠用)
- 推薦用件 (5) に係る単位修得証明書 (地域枠用)
- 「〈美術作品または美術的な活動〉証明書」、「スポーツ・運動歴調書」の作成についての依頼
- 〈美術作品または美術的な活動〉証明書 (美術教育専修のみ:地域枠用)
- スポーツ・運動歴調書 (保健体育専修のみ:地域枠・一般枠共通)
- 出願用封筒 (高校への提出用)
- 出願用封筒表面
- 大学入試センター試験成績請求票貼付票・入学志願者カード提出用封筒
- 検定料払込用紙

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

奈良教育大学は、高い知性と豊かな教養を備えた人材、とりわけ人間形成に関する専門的力量を備えた有能な教員及び教育者を育てるとともに、この地域に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。このため、次のような学生を求めます。

- 1 教育に対する関心と教職への意欲がある人
- 2 子ども（人間）への関心を持ち、共感できる人
- 3 豊かな基礎学力と幅広い問題への関心を持ち、自分の探求したい得意分野がある人

入学者選抜の基本方針

【教育学部】

奈良教育大学は、教育学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、一般入試（前期日程・後期日程）、推薦入試（一般枠・地域枠）、帰国生徒特別入試ならびに私費外国人留学生特別入試により入学者を選抜します。

推薦入試では、出身学校長からの推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、推薦書、調査書、自己申告書等ならびに面接の結果を総合して評価します。

II. 推薦入試について

本学では、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、次のとおり推薦入試を実施します。

なお、国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を問わず）へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限られていますので注意してください。

募集する専修・履修分野

選抜	専攻	専修・履修分野		募集人員
推薦入試 (地域枠)	教育発達専攻	教育学専修		3名
		心理学専修		3名
		特別支援教育専修		2名
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	2名
		社会科教育専修	初等教育履修分野	2名
		数学教育専修	初等教育履修分野	2名
		理科教育専修	初等教育履修分野	2名
		音楽教育専修	初等教育履修分野	2名
		美術教育専修	初等教育履修分野	2名
		保健体育専修	初等教育履修分野	2名
家庭科教育専修		初等教育履修分野	1名	
小計			23名	
推薦入試 (一般枠)	教育発達専攻	幼年教育専修		2名
	教科教育専攻	国語教育専修	中等教育履修分野	2名
		社会科教育専修	中等教育履修分野	2名
		数学教育専修	中等教育履修分野	2名
		理科教育専修	中等教育履修分野	2名
		保健体育専修	中等教育履修分野	2名
		英語教育専修	中等教育履修分野	2名
小計			14名	
合計				37名

出願期間 平成28年11月4日(金)～平成28年11月10日(木)

試験期日 (地域枠)平成28年12月17日(土)

(一般枠)平成28年12月17日(土)

合格発表日 平成29年2月8日(水)

入学手続日 平成29年2月15日(水)

Ⅲ. 推薦入試（地域枠）

1. 募集人員及び推薦人員

推薦の要件(1)～(4)を満たす場合の推薦人員は、1校につき3名以内とします。また、推薦の要件(1)～(4)に加えて推薦の要件(5)を満たす場合は、1校あたり更に3名以内の推薦を認めます。

選抜	専攻	専修・履修分野		募集人員
推薦入試（地域枠）	教育発達専攻	教育学専修		3名
		心理学専修		3名
		特別支援教育専修		2名
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	2名
		社会科教育専修	初等教育履修分野	2名
		数学教育専修	初等教育履修分野	2名
		理科教育専修	初等教育履修分野	2名
		音楽教育専修	初等教育履修分野	2名
		美術教育専修	初等教育履修分野	2名
		保健体育専修	初等教育履修分野	2名
		家庭科教育専修	初等教育履修分野	1名
合計				23名

※一般枠と地域枠の両方に出願することができます。（ただし、地域枠で合格した者は一般枠では不合格とし、地域枠での合格を優先します。）

2. 推薦の要件

次の各号〔(1)～(4)または(1)～(5)〕に該当し、かつ、本学が指定する平成29年度大学入試センター試験の教科・科目（16ページ別表1）を受験する者

- (1) 奈良県内の高等学校(特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。)を平成29年3月卒業見込みの者及び平成28年3月に卒業した者、若しくは学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成28年度の途中において卒業した者
- (2) 将来にわたり奈良県下の学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性等を有すると思われる者で、出身学校長が責任を持って推薦できる者
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (4) 将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志を有する者
- (5) 高等学校在学中（在学中の学生については、出願前の学期まで）に教育に関する科目、ボランティア活動に関する科目のいずれかの科目の単位を4単位以上修得した者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

＜平成28年11月10日（木）（消印有効）までに提出するもの＞

書 類 等	提出該当者	様 式	摘 要
1 入学志願票 (地域枠用)	全 員	本学所定	21ページの記入上の注意をよく読んで所要事項をもれなく記入してください。
2 受験票・写真票 (地域枠用)	全 員	本学所定	所定の用紙に必要な事項を記入してください。受験票の裏面には、 332円分の郵便切手 を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
3 調 査 書	全 員	文部科学省所定	出身学校長が作成し、 厳封 してください。一般枠と併願する場合は、計2通提出してください。
4 推 薦 書 (地域枠用)	全 員	本学所定	出身学校長が作成し、 厳封 してください。
5 自 己 申 告 書 (地域枠用)	全 員	本学所定	2つの課題（19ページV. 参照）について、本人が自筆で作成してください。
6 公的な受賞歴、競技会・コンクール等への参加歴及び公的な資格調書	該 当 者	本学所定	出身学校長が作成し、 <u>記載した成績・記録及び資格を証明する資料を添付したうえで、厳封</u> してください。
7 入 学 確 約 書 (地域枠用)	全 員	本学所定	所要事項をもれなく記入し、出身学校長が連署してください。
8 推薦要件(5)に係る単位修得証明書及び科目概要(シラバス)	推薦要件の(1)～(5)を満たす者として推薦する場合のみ	本学所定	単位修得証明書は出身学校長が作成し、科目概要(シラバス)とともに 厳封 してください。
9 音楽実技種目記入票	音楽教育専修志願者	本学所定	所要事項をもれなく記入し、出願時に提出してください。
10 <美術作品または美術的な活動>証明書	美術教育専修志願者	本学所定	出身学校長が作成し、 <u><美術作品または美術的な活動>に関わる内容について、それを志願者が行なったことを証明する資料がある場合は添付したうえで、厳封</u> してください。※<美術作品または美術的な活動>証明書に記載した「実物またはその写真」や関連資料(2点以内)は試験当日持参してください。
11 スポーツ・運動歴調書 (地域枠・一般枠共通)	保健体育専修志願者	本学所定	出身学校長が作成し、 <u>記載した成績・記録を証明する資料を添付したうえで、厳封</u> してください。
12 宛 名 票	全 員	本学所定	合格通知書を受け取る場所の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
13 検 定 料 (17,000円)	全 員		郵便局・ゆうちょ銀行で納付し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を検定料納付確認票に貼付してください。なお、一般枠と併願する者(34,000円)は、 <u>地域枠の検定料納付確認票に貼付</u> してください。納付手数料は、入学志願者の負担とします。

＜平成28年12月15日（木）（必着）までに提出するもの＞

書 類 等		提出該当者	様 式	摘 要
14	大学入試センター 試験成績請求票	全 員	本学所定	「平成29年度大学入試センター試験成績請求票（国立推薦入試用）」を指定箇所に貼付し、 <u>平成28年12月15日（木）（必着）まで</u> に入学志願者カードとともに指定の封筒により提出してください。
15	入学志願者カード （地域枠用）	全 員	本学所定	24～25ページの記入上の注意をよく読んで正確に記入し、 <u>平成28年12月15日（木）（必着）まで</u> に大学入試センター試験成績請求票とともに指定の封筒により提出してください。

(2) 出願方法

出願書類等は、志願者ごとに（一般枠と併願する場合は合わせて）、この要項に添付した出願用封筒（高校提出用）に入れ、出身学校長が推薦者分をとりまとめたうえ、郵送用封筒を別に用意して「書留速達便」により送付してください（郵送に限る。）。なお、郵送用封筒には、「出願用封筒表面」を貼付してください。

① 出願期間

平成28年11月4日（金）から平成28年11月10日（木）まで（郵送に限る。）

（平成28年11月10日（木）までの消印のあるものを有効とします。）

※大学入試センター試験成績請求票及び入学志願者カード（地域枠用）については、平成28年12月15日（木）（必着）まで（郵送に限る。）

② 出願先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

(3) 出願上の留意事項

① 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を問わず）へ出願できるのは1つの大学・学部のみです。

ただし、本学の地域枠と一般枠の併願は可能です。

② 国公立大学・学部の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める推薦入試辞退手続きにより、平成29年2月15日までに入学の辞退を許可された場合を除いて、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。

③ 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に受信地及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。

④ 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。

⑤ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。

⑥ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。

ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

なお、上記アまたはイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

⑦ 出願書類の記入方法は21ページ「Ⅷ. 出願書類記入上の注意」を参照してください。

4. 受験票の送付

- (1) 本学受験票は出願期間終了後、順次本人あてに送付します。
なお、受験票が平成 28 年 12 月 5 日（月）までに到着しない場合は、本学入試課へお問い合わせください。
- (2) **試験当日及び入学手続の際に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。**

5. 選抜方法

- (1) 出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、自己申告書、公的な受賞歴・競技会・コンクール等への参加歴及び公的な資格調書、大学入試センター試験の成績及び面接の結果を総合して得点順に選抜します。なお、音楽教育専修の選抜には実技試験を、美術教育専修の選抜には、「<美術作品または美術的な活動>証明書」及び「その実物又は写真」を、保健体育専修の選抜にはスポーツ・運動歴調書を含めます。
- (2) 本学が指定する平成 29 年度大学入試センター試験の教科・科目は **16 ページの別表 1** に記載のとおりです。指定する教科・科目を受験することが推薦の要件に含まれていますので、各自で必ず確認した後、出願してください。
- (3) 面接の内容、評価の観点は **17 ページの別表 2** に記載のとおりです。
- (4) 合格基準は、大学入試センター試験、面接・自己申告書の各得点について満点の 5 割 5 分以上とします。
- (5) 音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修志願者は、下記の点に留意してください。
 - ① 音楽教育専修では、実技試験を実施します。実技試験の内容・評価の観点は、**17 ページの別表 3** のとおりです。
 - ② 美術教育専修志願者は、下記の点に注意し、高校生活の中での「<美術作品または美術的な活動>証明書」を厳封し、出願書類とともに提出してください。また<美術作品または美術的な活動>の「実物またはその写真」や関連資料（2 点以内）などを、試験当日持参してください。
 - ア <美術作品>とは、絵画、彫刻、工芸作品、デザイン、マンガ、イラストレーション、写真、映像など幅広い造形表現活動を指しています。形態・サイズ、表現分野・方法は問いません。
 - イ 美術作品は、できるだけ実物を持参することが望ましいが、重量、サイズ、表現分野・方法などの関係で持参できない場合は、写真により提出してください。
 - ウ 美術作品を「写真」により提出する場合には、**2L 判（キャビネサイズ）**とし、できるだけ実物に近い状態で撮影したものにしてください。また、立体作品の場合には、**3 方向からの 3 枚の写真**を用意してください。
 - エ <美術的な活動>とは、地域のイベントや学校祭などでの企画活動や共同制作、美術に関わる研究（高校での卒論など）、美術に関わる評論（作文や小論文など）、学校外での自主的な活動（高校として志願者の活動として確認できるもの）などを指しています。また、これを志願者が行なったことを証明する資料（写真等を含む）がある場合は添付したうえで、厳封してください。また、その活動に関する追加資料があれば、当日持参してください。
 - ③ 保健体育専修志願者は、スポーツ・運動歴調書（地域枠・一般枠共通）を出願書類とともに、記載した成績・記録を証明する資料を添付したうえで厳封し、提出してください。
- (6) **地域枠と一般枠の両方を受験した者のうち、地域枠で合格した者は一般枠では不合格とし、地域枠での合格を優先します。**

6. 配点

専攻・専修		大学入試センター試験教科・科目							面接・ 自己申告書・ 実技試験	合計
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計		
教育発達専攻	教育学専修 心理学専修 特別支援教育専修	100	※100	※100	100	100	100	500	◎500	1000
	教科教育専攻									

(注) [大学入試センター試験]

- ・※は選択教科を示し、地理歴史、公民において、複数の科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。
- ・国語は200点満点を100点満点に換算して利用します。
- ・数学は、「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」か「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から高得点の1科目とします。
- ・理科の複数の科目を受験した場合において、基礎を付していない科目2科目を受験した場合は第1解答科目の成績を、基礎を付した科目2科目(2科目合計)及び基礎を付していない科目1科目を受験した場合は、どちらか高得点の科目を、基礎を付した科目を2科目のみ受験した場合はその合計得点を用います。
- ・外国語で「英語」を選択した場合は、リスニングの成績を含み、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計を100点満点に換算して利用します。なお、リスニング免除者については、筆記試験200点満点を100点満点に換算するものとします。
- 「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」を選択した者については、200点満点を100点満点に換算して利用します。

[面接・自己申告書・実技試験]

- ・面接・自己申告書の配点には、公的な受賞歴、競技会・コンクール等への参加歴及び公的な資格調書を含みます。なお、美術教育専修志願者は<美術作品または美術的な活動>証明書を、保健体育専修志願者はスポーツ・運動歴調書を含みます。
- ・◎実技試験は音楽教育専修のみ行います。

7. 試験期日と時間

平成 28 年 12 月 17 日 (土) ※集合時刻、試験開始時刻は、受験票送付時にお知らせします。

※面接試験の実施場所は、試験当日、講義 2 号棟に掲示しますので、**集合時刻までに入室してください。**なお、試験開始が午前になった場合は、午後まで延長される可能性がありますので念のため昼食を持参してください。

※一般枠を併願する者については、試験時間が重複することのないよう配慮します。

8. 試験場

奈良教育大学 (奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR 奈良駅から市内循環バス乗車「高畑町^{たかばたけちょう} (奈良教育大学)」下車 (裏表紙参照)

9. 受験についての留意事項

- (1) **試験当日は、「奈良教育大学受験票」を必ず持参してください。**万一、受験票を忘れた場合又は紛失した場合は、ただちに、試験場本部へ申し出てください。
- (2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- (3) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。
- (4) 試験開始時刻に遅刻した者は受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認の上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (5) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。

10. 合格者の発表

平成 29 年 2 月 8 日 (水) 午前 10 時

本学本部棟東側の入学試験掲示板に掲示し、同時に合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類を送付します。

また、出身学校長あてに可否の通知を行います。

なお、合格発表日に本学ホームページ (<http://www.nara-edu.ac.jp/>) 上で合格者受験番号を速報する予定です。この合格速報は、情報提供サービスの一環としてホームページ上に掲載するものであり、改ざんされる恐れもありますので、必ず学内掲示板または合格通知で確認してください。

電話などによる照会には応じられません。

11. 入学手続等

合格者には、合格発表後、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続は、持参を原則としますが、やむを得ない理由により入学手続日に来学できない場合は、事前に申し出ることにより、郵送にて入学手続を行うことができます。

(1) 入学手続日

① 持参による入学手続

平成 29 年 2 月 15 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで受付

② 郵送による入学手続 (事前に申し出た者のみ)

平成 29 年 2 月 14 日 (火) 必着

(2) 納付金

- ① 入学料 282,000 円 (予定額)
- ② 授業料 前期分 267,900 円 [年額 535,800 円] (予定額)
- ③ 学生教育研究災害傷害保険等 4,010 円

(注) ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料(上記②)については、平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 4 月 30 日までの間に納入してください。

ウ. 上記の入学料及び授業料は、平成 28 年度入学者の金額であり、平成 29 年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 保険料(上記③)を納入した者が、平成 29 年 3 月 31 日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

カ. 入学後、専修ごとに、日帰り又は一泊での新入生学生研修の実施が予定されています。

各専修により研修内容が異なるため、研修にかかる費用も異なりますが、宿泊を伴う場合は、10,000 円程度の費用が必要となることがあります。

(3) 事前連絡先等

入学手続き日に本学へ来学することができない場合には、次の期間に入試課へ申し出てください。なお、事前の連絡がない場合には、入学手続き日、手続方法の変更は認めません。

① 連絡先

奈良教育大学 入試課 0742-27-9126

② 期間

平成 29 年 2 月 8 日(水)から平成 29 年 2 月 13 日(月)まで(土日・祝日を除く)
午前 9 時から午後 5 時まで

(4) 留意事項

① 平成 29 年 2 月 15 日(水)午後 4 時までに、入学手続きを完了しないときは、推薦入試合格者としての権利を消失します。下記②の入学辞退の手続を経た場合を除き、出願済の他の国公立大学・学部個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。

② 特別の事情により本学に入学することが困難となった場合には、当該者の推薦を行った出身学校長から平成 29 年 2 月 15 日(水)午後 4 時までに「推薦入試辞退願」を提出し、本学学長の許可を得なければなりません。

12. 推薦による選抜に不合格となった場合の個別学力検査等の受験を希望する者の取扱い

(1) 国公立大学の推薦入試の出願は一つの大学・学部に限りますが、この推薦入試に不合格となった場合に備えて、一般入試において「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。

(2) 本学個別学力検査等による選抜を希望する者の出願手続等は、下記のとおりです。

① 推薦入試の合格者の発表が一般入試の出願期間後となりますので、あらかじめ出願手続きを完了しておいてください。

② 出願手続及び出願方法

出願手続は「平成 29 年度奈良教育大学学生募集要項(一般入試)」(平成 29 年 11 月上旬以降に本学ホームページ上で公表予定)により、改めて行ってください。なお、一般入試についてはインターネット出願となっております。

また、検定料については、再度納入する必要があります。

IV. 推薦入試（一般枠）

1. 募集人員及び推薦人員

推薦人員は、1校につき2名以内とします。

選抜	専攻	専修・履修分野		募集人員
推薦入試 (一般枠)	教育発達専攻	幼年教育専修		2名
	教科教育専攻	国語教育専修	中等教育履修分野	2名
		社会科教育専修	中等教育履修分野	2名
		数学教育専修	中等教育履修分野	2名
		理科教育専修	中等教育履修分野	2名
		保健体育専修	中等教育履修分野	2名
		英語教育専修	中等教育履修分野	2名
	合計			14名

※ 一般枠と地域枠の両方に出願することができます。(ただし、地域枠で合格した者は一般枠では不合格とし、地域枠での合格を優先します。)

2. 推薦の要件

次の各号に該当し、かつ、本学が指定する平成29年度大学入試センター試験の教科・科目(18ページ別表4)を受験する者

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成29年3月卒業見込みの者、若しくは学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成28年度の途中において卒業した者、又は文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年3月までに修了見込みの者
- (2) 出身学校の学業成績が優秀で、人物に優れ、かつ、学習意欲が旺盛で、学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者
なお、全体の評定平均値については、第3学年第1学期（2学期制の高等学校等については、前期）までのもので算出してください。
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

<平成28年11月10日（木）（消印有効）までに提出するもの>

	書類等	提出該当者	様式	摘要
1	入学志願票 (一般枠用)	全員	本学所定	21ページの記入上の注意をよく読んで所要事項をもれなく記入してください。
2	受験票・写真票 (一般枠用)	全員	本学所定	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 332円分の郵便切手 を貼付の上、 郵便番号・住所・氏名 を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。

3	調 査 書	全 員	文部科学省所定	出身学校長が作成し、 厳封 してください。地域枠と併願する場合は、計2通提出してください。
4	推 薦 書 (一 般 枠 用)	全 員	本学所定	出身学校長が作成し、 厳封 してください。
5	自 己 申 告 書 (一 般 枠 用)	全 員	本学所定	各専修から出題された課題(19ページV. 参照)について、本人が自筆で作成してください。
6	入 学 確 約 書 (一 般 枠 用)	全 員	本学所定	所要事項をみれなく記入し、出身学校長が連署してください。
7	スポーツ・運動歴調書 (地域枠・一般枠共通)	保健体育専修 志願者	本学所定	出身学校長が作成し、記載した成績・記録を証明する資料を添付したうえで、 厳封 してください。地域枠を保健体育専修志望で併願する者については、併せて1部のみ、地域枠の出願書類として提出してください。
8	宛 名 票	全 員	本学所定	合格通知書を受け取る場所の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
9	検 定 料 (17,000円)	全 員		郵便局・ゆうちょ銀行で納付し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を検定料納付確認票に貼付してください。なお、地域枠と併願する者(34,000円)は、地域枠の検定料納付確認票に貼付してください。納付手数料は、入学志願者の負担とします。

<平成28年12月15日(木)(必着)までに提出するもの>

書 類 等	提出該当者	様 式	摘 要
10 大学入試センター 試験成績請求票	全 員	本学所定	「平成29年度大学入試センター試験成績請求票(国公立推薦入試用)」を指定箇所に貼付し、 平成28年12月15日(木)(必着)まで に入学志願者カードとともに指定の封筒により提出してください。なお、 <u>地域枠と併願する者は、成績請求票を地域枠用の大学入試センター試験成績請求票貼付票に貼付してください。</u>
11 入学志願者カード (一 般 枠 用)	全 員	本学所定	26～27ページの記入上の注意をよく読んで正確に記入し、 平成28年12月15日(木)(必着)まで に大学入試センター試験成績請求票とともに指定の封筒により提出してください。

(2) 出願方法

出願書類等は、志願者ごとに（地域枠と併願する場合は合わせて）、この要項に添付した出願用封筒（高校提出用）に入れ、出身学校長が推薦者分をとりまとめたうえ、郵送用封筒を別に用意して「書留速達便」により送付してください（郵送に限る。）。なお、郵送用封筒には、「出願用封筒表面」を貼付してください。

① 出願期間

平成 28 年 11 月 4 日（金）から平成 28 年 11 月 10 日（木）まで（郵送に限る。）
（平成 28 年 11 月 10 日（木）までの消印のあるものを有効とします。）

※大学入試センター試験成績請求票及び入学志願者カード（一般枠用）については、
平成 28 年 12 月 15 日（木）（必着）まで（郵送に限る。）

② 出願先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

(3) 出願上の留意事項

- ① 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を問わず）へ出願できるのは 1 つの大学・学部のみです。
ただし、本学の一般枠と地域枠の併願は可能です。
- ② 国公立大学・学部の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める推薦入試辞退手続により、平成 29 年 2 月 15 日までに入学の辞退を許可された場合を除いて、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。
- ③ 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に受信地及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ④ 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ⑤ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
なお、上記アまたはイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。
- ⑦ 出願書類の記入方法は 21 ページ「Ⅷ. 出願書類記入上の注意」を参照してください。

4. 受験票の送付

- (1) 本学受験票は出願期間終了後、順次本人あてに送付します。
なお、受験票が平成 28 年 12 月 5 日（月）までに到着しない場合は、本学入試課へお問い合わせください。
- (2) **試験当日及び入学手続の際に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。**

5. 選抜方法

- (1) 出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、自己申告書、大学入試センター試験の成績及び面接の結果を総合して得点順に選抜します。なお、保健体育専修の選抜にはスポーツ・運動歴調査書を含めます。
- (2) 本学が指定する平成 29 年度大学入試センター試験の教科・科目は **18 ページの別表 4** に記載のとおりです。指定する教科・科目を受験することが推薦の要件に含まれていますので、各自で必ず確認した後、出願してください。
- (3) 面接の内容、評価の観点は **18 ページの別表 5** に記載のとおりです。
- (4) 合格基準は、大学入試センター試験、面接・自己申告書の各得点について満点の 5 割以上とします。

- (5) 保健体育専修志願者は、スポーツ・運動歴調書（地域枠・一般枠共通）を出願書類とともに、記載した成績・記録を証明する資料を添付したうえで、厳封し、提出してください。一般枠と地域枠をともに保健体育専修で併願する場合は、併せて1部のみ地域枠の出願書類として提出してください。
- (6) 一般枠と地域枠の両方を受験した者のうち、地域枠で合格した者は一般枠では不合格とし、地域枠での合格を優先します。

6. 配点

専攻・専修		大学入試センター試験教科・科目							調査書	面接・自己申告書	合計
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計			
教育発達専攻	幼年教育専修										
	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 英語教育専修	200	※300	※300	200	※300	200	900	200	400	1500
	保健体育専修	200			100		200	500	200	400	1100

(注) [大学入試センター試験]

- ・※は、選択教科を示し、地理歴史、公民及び理科を合わせて4科目以上受験した場合は、次のとおり成績を用います。

受験パターン			成績利用方法
I	地理歴史 公民	2科目	地理歴史、公民の第1解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付した科目(2科目合計)と基礎を付していない科目のうち高得点の科目 ②地理歴史、公民の第2解答科目及び上記①以外の科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付した科目(2科目合計)及び基礎を付していない科目(1科目)	
II	地理歴史 公民	2科目	地理歴史、公民の第1解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付していない科目の第1解答科目 ②地理歴史、公民の第2解答科目及び理科の基礎を付していない科目の第2解答科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付していない科目2科目	

- ・外国語で「英語」を選択した場合は、リスニングの成績を含み、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。なお、リスニング免除者については、筆記試験(200点満点)の得点のみ利用します。
- ・保健体育専修では、数学について、「数学I」「数学I・数学A」か「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から高得点の1科目とします。

[面接・自己申告書]

- ・面接・自己申告書の配点について、保健体育専修を志願する者はスポーツ・運動歴調書を含めます。

7. 試験期日と時間

平成 28 年 12 月 17 日（土） ※集合時刻、試験開始時刻は、受験票送付時にお知らせします。

※面接試験の実施場所は、試験当日、講義 2 号棟に掲示しますので、**集合時刻までに入室してください。**なお、試験開始が午前になった場合は、午後まで延長される可能性がありますので念のため昼食を持参してください。

※地域枠を併願する者については、試験時間が重複することのないよう配慮します。

8. 試験場

奈良教育大学（奈良市高畑町）

近鉄奈良駅・JR 奈良駅から市内循環バス乗車「高畑町（奈良教育大学）」下車（裏表紙参照）

9. 受験についての留意事項

- (1) 試験当日は、「**奈良教育大学受験票**」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合又は紛失した場合は、ただちに、試験場本部へ申し出てください。
- (2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- (3) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。
- (4) 試験開始時刻に遅刻した者は受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認の上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (5) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。

10. 合格者の発表

平成 29 年 2 月 8 日（水）午前 10 時

本学本部棟東側の入学試験掲示板に掲示し、同時に合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類を送付します。

また、出身学校長あてに可否の通知を行います。

なお、合格発表日に本学ホームページ（<http://www.nara-edu.ac.jp/>）上で合格者受験番号を速報する予定です。この合格速報は、情報提供サービスの一環としてホームページ上に掲載するものであり、改ざんされる恐れもありますので、必ず、学内掲示板または合格通知で確認してください。

電話などによる照会には応じられません。

11. 入学手続等

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続は、持参を原則としますが、やむを得ない理由により入学手続日に来学できない場合は、事前に申し出ることにより、郵送にて入学手続を行うことができます。

(1) 入学手続日

① 持参による入学手続

平成 29 年 2 月 15 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで受付

② 郵送による入学手続（事前に申し出た者のみ）

平成 29 年 2 月 14 日（火）必着

(2) 納付金

- ① 入学料 282,000 円 (予定額)
- ② 授業料 前期分 267,900 円 [年額 535,800 円] (予定額)
- ③ 学生教育研究災害傷害保険等 4,010 円

(注) ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料(上記②)については、平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 4 月 30 日までの間に納入してください。

ウ. 上記の入学料及び授業料は、平成 28 年度入学者の金額であり、平成 29 年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 保険料(上記③)を納入した者が、平成 29 年 3 月 31 日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

カ. 入学後、専修ごとに、日帰り又は一泊での新入生学生研修の実施が予定されています。

各専修により研修内容が異なるため、研修にかかる費用も異なりますが、宿泊を伴う場合は、10,000 円程度の費用が必要となることがあります。

(3) 事前連絡先等

入学手続き時に本学へ来学することができない場合には、次の期間に入試課へ申し出てください。なお、事前の連絡がない場合には、入学手続き日、手続き方法の変更は認めません。

① 連絡先

奈良教育大学 入試課 0742-27-9126

② 期間

平成 29 年 2 月 8 日(水)から平成 29 年 2 月 13 日(月)まで(土日・祝日を除く)

午前 9 時から午後 5 時まで

(4) 留意事項

- ① 平成 29 年 2 月 15 日(水)午後 4 時までに、入学手続きを完了しないときは、推薦入試合格者としての権利を消失します。下記②の入学辞退の手続を経た場合を除き、出願済の他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。
- ② 特別の事情により本学に入学することが困難となった場合には、当該者の推薦を行った出身学校長から平成 29 年 2 月 15 日(水)午後 4 時までに「推薦入試辞退願」を提出し、本学学長の許可を得なければなりません。

12. 推薦による選抜に不合格となった場合の個別学力検査等の受験を希望する者の取扱い

- (1) 国公立大学の推薦入試の出願は一つの大学・学部に限りますが、この推薦入試に不合格となった場合に備えて、一般入試において「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。
- (2) 本学個別学力検査等による選抜を希望する者の出願手続等は、下記のとおりです。
 - ① 推薦入試の合格者の発表が一般入試の出願期間後となりますので、あらかじめ出願手続きを完了しておいてください。
 - ② 出願手続及び出願方法
出願手続は「平成 29 年度奈良教育大学学生募集要項(一般入試)」(平成 29 年 11 月上旬以降に本学ホームページ上で公表予定)により、改めて行ってください。なお、一般入試についてはインターネット出願となっております。
また、検定料については、再度納入する必要があります。

別表 1

平成 29 年度 大学入試センター試験の本学が指定する教科・科目等について (地域枠)

大学入試センター試験の利用教科・科目名		
専攻・専修	教科	科目名等
教育 発達 専攻	教育学専修	国
	心理学専修	数
	特別支援教育専修	数
教科 教育 専攻	国語教育専修	地歴
	社会科教育専修	公民
	数学教育専修	理
	理科教育専修	理
	音楽教育専修	外
	美術教育専修	外
	保健体育専修 家庭科教育専修	外
		国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A } から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、薄、情報 } 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 } A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科5科目若しくは6科目]

(注) 配点については、7 ページに記載のとおりです。

別表2

面接の内容、評価の観点（地域枠）

【面接】

専攻	専修・履修分野		内容・評価の観点
教育 発達 専攻	教育学専修		個人面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
	心理学専修		志望の動機、将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志、教職への意欲、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を個人面接及び自己申告書の内容を見て評価します。特に子どもの心理的特徴をふまえた教育実践を行える教員となる意欲や態度を評価します。
	特別支援教育専修		志望の動機、将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志、教職への意欲、教員としての資質、学習意欲、子どもの発達・教育についての問題意識等を個人面接および自己申告書の内容を見て評価します。
教 科 教 育 専 攻	国語教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、初等教育に対する理解、関心や期待、国語に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。
	社会科教育専修	初等教育履修分野	集団面接の形式で、小学校教員への志望動機、社会科教育専修で学びたい理由、奈良県という地域への見方などをみて評価します。志願者数によっては個人面接になることもあります。
	数学教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	理科教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、教職への意欲と特に奈良県の小学校教員をめざす動機と意志を確認したうえで、入学後の学習計画、教科内容に関する知識について問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	音楽教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに地域の初等教育への意欲をみて評価します。 (2)適性をみるため「新曲視唱及びピアノ演奏もしくは弾き歌い」をふまえ、音楽を担当する教員としての資質を評価します。
	美術教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに教職への意欲をみて評価します。 (2)提出された「<美術作品または美術的な活動>証明書」及び「その実物又は写真」をふまえ、図画工作・美術に関する興味や関心を問い、この分野に強みをもつ小学校教員としての資質を評価します。
	保健体育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育課題についての理解や関心、ならびに教職への意欲をみて、評価します。 (2)「スポーツ・運動歴調査」をふまえ、小学校教員としての資質を評価します。 ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
家庭科教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、入学後の学習計画、教科内容に関する知識、教職への意欲について問い、関心・意欲・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。	

別表3

実技検査の内容・評価の観点（地域枠）

【実技検査】

専攻・専修	内容・評価の観点
教科教育専攻 音楽教育専修	以下の課題により、音楽的能力、理解力、表現力をみます。 (1)新曲視唱（8小節程度の旋律を階名視唱する。） ・開始音、主和音を与えます。 (2)以下の2種目から選択し、暗譜で5分以内の演奏をする。 a. 任意のピアノ曲 b. 任意の歌曲のピアノ伴奏による弾き歌い ・演奏する曲の曲名、調性、作曲者名を音楽実技種目記入票に記入し、出願時に提出してください。

別表 4

平成 29 年度 大学入試センター試験の本学が指定する教科・科目等について (一般枠)

大学入試センター試験の利用教科・科目名			
専攻・専修	教科	科目名等	
教育発達専攻	幼年教育専修	国 数	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1
		国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 英語教育専修	地歴 公民 理
外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1		
[5教科7科目若しくは8科目]又は[6教科7科目若しくは8科目]			
教科教育専攻	保健体育専修		国 数
		外	英・英リ、独、仏、中、韓 から1
[3教科3科目]			

(注) 配点については、13 ページに記載のとおりです。

別表 5

面接の内容、評価の観点 (一般枠)

【面接】

専攻	専修・履修分野	内容・評価の観点	
教育発達専攻	幼年教育専修	個人面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育(保育)についての問題意識、教育(保育)への意欲、保育者としての資質などを見て、評価します。	
教科教育専攻	国語教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、中等教育に対する理解、関心や期待、国語に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。
	社会科教育専修	中等教育履修分野	集団面接の形式で、教育に対する理解、関心や期待、現代社会が抱える諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。ただし、志願者数等により、個人面接となることがあります。
	数学教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	理科教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、教科内容に関する知識、教職への意欲について問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	保健体育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに教職への意欲をみて、評価します。 (2) 提出された「スポーツ・運動歴調書」をふまえ、保健体育を担当する教員としての資質を評価します。 ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
英語教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、教育に対する理解、関心や期待、英語、英語教育及び国際理解教育に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。	

V. 自己申告書の課題

地域枠

専攻・専修・履修分野		課 題
教育発達 専攻	教育学専修 心理学専修 特別支援教育専修	以下の2つの課題について記述してください。 (1) これまでの学校生活で積極的に取り組んできたこと（学業、課外活動、特技・資格など）について600字以内で述べてください。 (2) 本学を志望した動機とともに、将来、地域の学校教員としてどのように貢献しようと思うか、600字以内で述べてください。
教科教育 専攻	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修 家庭科教育専修 初等教育履修分野	

一般枠

専攻・専修・履修分野		課 題
教育発達 専攻	幼年教育専修	あなたが、これまでに積極的に取り組んできたこと（課外活動、乳幼児の教育（保育）に生かせる特技など）、幼年教育専修を志望した理由、入学してから学びたいこと、めざす保育者像など。（800字以内）
教科教育 専攻	国語教育専修	あなたが、これまでに積極的に取り組んできたこと、国語教育専修を志望した理由、入学してから学びたいこと、及び将来の抱負など。（800字以内）
	社会科教育専修	(1) これまでの学校生活や地域での活動などで積極的に取り組んだことについて600字以内で述べてください。 (2) 本学を志望した動機とともに、将来、社会科（地理歴史科・公民科を含む）の学校教員としてどのように貢献しようと思うか、600字以内で述べてください。
	数学教育専修	あなたが、これまでに積極的に取り組んできたこと、数学教育専修を志望した理由、入学してから学びたいこと、及び将来の抱負など。（800字以内）
	理科教育専修	あなたが、これまでに積極的に取り組んできたこと、理科教育専修を志望した理由、入学してから学びたいこと、及び将来の抱負など。（800字以内）
	保健体育専修	あなたが今までに行ったスポーツ活動、これまでの学校生活において積極的に取り組んできたこと、保健体育専修を志望した理由、将来の抱負など。（800字以内）
	英語教育専修	あなたが、これまでに積極的に取り組んできたこと、英語教育専修を志望した理由、入学してから学びたいこと、及び将来の抱負など。（800字以内）

VI. 障害を有する入学志願者との事前相談

本学を受験しようとする障害を有する入学志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は事前に相談してください。

1. 相談の期日

平成28年10月14日（金）まで

2. 相談の方法

次の事項を記載した相談書類（様式任意）に医師の診断書を添付して提出してください。

- (1) 氏名及び出身学校名
- (2) 障害の種類、程度
- (3) 志望専修・履修分野名
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身学校でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先（住所、電話番号等）

3. 提出先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

VII. 留意事項等

(1) **本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票は、入学手続等に必要ですので、紛失、汚損等のないよう大切に保管しておいてください。**

(2) 地域枠と一般枠を併願する者においては、面接試験の時刻が重複することのないよう配慮します。

(3) 連絡事項があれば、大学のホームページに掲載します。

(4) 本学から受験のための宿泊施設等のあっせんは行いません。

(5) 本募集要項に関して不明な点がある場合には、入試課へお問い合わせください。

(6) 学生募集要項（一般入試）について

大学ホームページの入試情報ページで、11月上旬から公表予定です。一般入試（前期日程・後期日程）は、インターネットによる出願となり、冊子による募集要項の配布はしませんので注意してください。ただし、事情によりインターネットによる出願ができない場合は、入試課まで相談してください。

(7) 個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用すること又は第三者に提供することはありません。

① 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。なお、氏名及び大学入試センターの受験番号に限っては、国公立大学における合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

② 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。

③ 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学金免除、入学金徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。

④ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。

⑤ その他本法人の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。

URL:<http://www.nara-edu.ac.jp/privacy/>

Ⅷ. 出願書類記入上の注意

1. 共通事項

- (1) 所要事項をもれなく正確に記入してください。不備のある場合は、受理しません。
- (2) 記載した事項については、受付後の変更は認めません。
- (3) 「入学志願者カード」以外の書類は、黒色ボールペンで丁寧に記入してください。
「入学志願者カード」は HB のシャープペンシル (0.5^{mm} 芯) で丁寧に記入してください。
- (4) ※印欄は、記入しないでください。

2. 「入学志願票」

地域枠用

- (1) 「性別」の欄は、該当する文字を○で囲んでください。
- (2) 「連絡先」の欄は、大学側が出願書類の照会や連絡をとる場合、速やかに本人に伝達できる電話番号及び住所を記入してください。携帯電話をお持ちの場合は、携帯電話の番号も記入してください。出願後、連絡先を変更した場合は、入試課に届け出てください。
- (3) 「保護者氏名」の欄は、保護者の氏名を記入してください。「保護者住所」の欄は、出願者本人と住所・電話番号が異なる場合のみ、保護者の住所・電話番号を記入してください。
- (4) 「志望専攻・専修・履修分野」の欄は、3 ページの「募集人員及び推薦人員」の表により、志望する専攻・専修名を記入してください。
- (5) 「一般枠との併願の有無」の欄は、どちらか該当する項目に○印を付けてください。
- (6) 「出願資格」の出身学校欄は、必要事項を記入するとともに該当する文字を○で囲んでください。
高等学校等コード番号の欄は、「平成 29 年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の高等学校等コード表を参照してください。
推薦の要件の欄は、3 ページの推薦の要件を確認の上、(1)～(4)または(1)～(5)のいずれかを○で囲んでください。
- (7) 「大学入試センター試験受験教科・科目」の欄は、受験予定の教科・科目全てに○印を付けてください。

一般枠用

- (1) 「性別」の欄は、該当する文字を○で囲んでください。
- (2) 「連絡先」の欄は、大学側が出願書類の照会や連絡をとる場合、速やかに本人に伝達できる電話番号及び住所を記入してください。携帯電話をお持ちの場合は、携帯電話の番号も記入してください。出願後、連絡先を変更した場合は、入試課に届け出てください。
- (3) 「保護者氏名」の欄は、保護者の氏名を記入してください。「保護者住所」の欄は、出願者本人と住所・電話番号が異なる場合のみ、保護者の住所・電話番号を記入してください。
- (4) 「志望専攻・専修・履修分野」の欄は、10 ページの「募集人員及び推薦人員」の表により、志望する専攻・専修名を記入してください。
- (5) 「出願資格」の出身学校欄は、必要事項を記入するとともに該当する文字を○で囲んでください。その他の出願資格の欄は、上記の資格を有しない場合、文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設等、出願資格に該当する具体的な内容を記入してください。
高等学校等コード番号の欄は、「平成 29 年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の高等学校等コード表を参照してください。
- (6) 「大学入試センター試験教科・科目」の欄は、受験予定の教科・科目全てに○印を付けてください。

3. 「受験票」・「写真票」

地域枠・一般枠共通

- (1) 「志望専攻・専修・履修分野」の欄は、入学志願票と同一のものを記入してください。
- (2) 「受験票」の裏面には、332 円分の郵便切手を貼付の上、郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- (3) 「写真票」には、出願前 3 か月以内に撮影した縦 4cm×横 3cm の上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。

4. 「検定料納付確認票」

「検定料納付確認票」貼付欄には、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料を納付したときに受け取る「振替払込受付証明書（大学提出用）」を貼付してください。（ATM（現金自動預け払い機）では、「振替払込受付証明書（大学提出用）」が発行されません。必ず、窓口で納付してください。）

なお、地域枠及び一般枠の両方に志願する者は、各選抜の検定料が必要ですので、併願者用の払込用紙を使用し、地域枠用の検定料納付確認票に貼付してください。その際、氏名を記入した一般枠用の検定料納付確認票も提出してください。

5. 「平成 29 年度大学入試センター試験成績請求票貼付票」

「大学入試センター試験成績請求票」貼付欄には、大学入試センターから送付された「平成 29 年度大学入試センター試験成績請求票（国公立推薦入試用）」を全面糊付けし、入学志願者カードとともに提出用封筒により提出してください。

なお、地域枠及び一般枠の両方に志願する者は、地域枠用の平成 29 年度大学入試センター試験成績請求票貼付票に貼付してください。その際、必要事項を記入した一般枠用の平成 29 年度大学入試センター試験成績請求票貼付票も提出してください。

6. 「宛名票」

「宛名票」は、出願者の氏名、郵便番号、住所を 4 箇所記入してください。（地域枠及び一般枠の両方に志願する者も同様。）

7. 「奈良教育大学入学志願者カード」

氏名	<input type="text"/>	(地域枠用)
本学受験番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
※本学受験票の受験番号を記入して下さい。		
大学入試センター試験試験場コード	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
大学入試センター試験受験番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
発行回数	<input type="text"/>	
専攻・専修・履修分野コード	<input type="text"/> <input type="text"/>	

記入例

標準文字	注意箇所	書き方の注意
0	0	丸く閉じ、縦長にバランス良く。
1	1	縦線に垂直に、頭部の角はつけない。
2	2	頭部は丸みをつけ、下線は水平に。
3	3	上下部に丸みをもち、中央部の横線を水平に、左端をそろえる。
4	4	2本の縦線は平行で上は閉じない。交差の右及び下に十分突き抜ける。

標準文字	注意箇所	書き方の注意
5	5	縦線は上に突き出す。中央部の横線は上の横線と水平に、下部は丸く。
6	6	丸は下半分の大きさ、左の斜線に突き出さない。
7	7	左上の角は短くはっきりとつけ、縦線は内側にふくらむ曲線。
8	8	線を連続させて、仕上げはバランス良く丸める。
9	9	上部の丸ははっきりさせて右の直線は斜めにする。

志願者カード記入上の注意

- (1) 記入については、HBのシャープペンシル(0.5^{mm}芯)で正確に記入してください。
- (2) 一度このページで下書きをしてから、提出用志願者カードに記入してください。
- (3) この志願者カードはコンピュータで処理しますので、数字等の記入は記入例のとおり枠内に正確に記入し、汚したり、しわにしたり、折りまげたりは絶対にしないでください。
- (4) 枠内は、絶対に汚さないでください。
- (5) 誤って記入したものは、プラスチック消しゴムによりきれいに消してください。
- (6) 専攻・専修・履修分野コード番号については、28ページを参照してください。

地域枠用

[氏名]
志願票に記入したとおり署名してください。

[本学受験番号]
受験票に記載されている受験番号を記入してください。

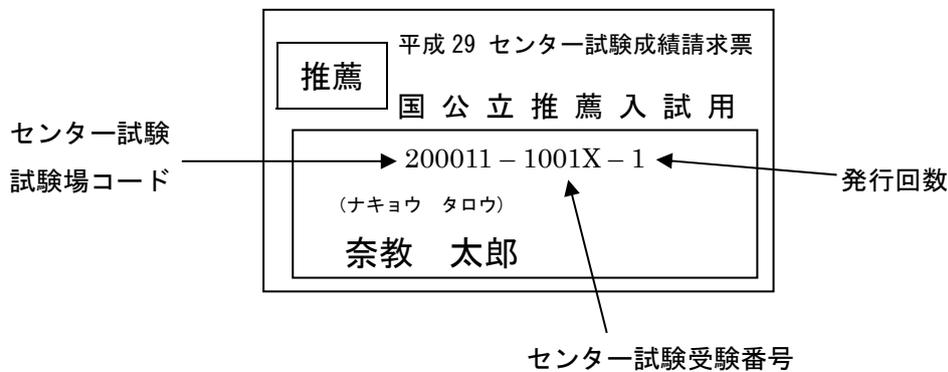
[大学入試センター試験試験場コード]
大学入試センター発行の成績請求票に記載されている試験場コードを記入してください。

[大学入試センター試験受験番号]
大学入試センター発行の成績請求票に記載されている受験番号を記入してください。

[発行回数]
大学入試センター発行の成績請求票に記載されている発行回数を記入してください。

[専攻・専修・履修分野コード]
志望する専攻・専修・履修分野を28ページの「専攻・専修・履修分野コード表」により記入してください。

【大学入試センター試験成績請求票】



標準文字	注意箇所	書き方の注意
A	Å	ループははっきり、突き出さない。
B	Ḃ	上下の突出し。
C	Ç	上下部を丸くあるいは水平に上右端に角をつける。
H	Ĥ	水平線は真中にはっきり。
K	Ķ	交差は一つに。
M	ᄀ	下方向の開放をはっきり二つ。

標準文字	注意箇所	書き方の注意
R	Ṛ	右方向に開放を。
U	Ṫ	上部は十分にあげる。
X	Ṙ	左上から右下の斜線は十分にはっきりと。
Y	Ṛ	上方向の開放をはっきり、交差を中央に。
Z	Ṙ	中央に長い横線を、また、右方向、左方向に開放を二つ。

氏名 (一般枠用)

本 学 受 験 番 号 <small>※本学受験票の受験番号を記入して下さい。</small>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
大学入試センター試験試験場コード	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
大学入試センター試験受験番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
発 行 回 数	<input type="text"/>
専攻・専修・履修分野コード	<input type="text"/> <input type="text"/>

記入例

標準文字	注意箇所	書き方の注意
0	0	丸く閉じ、縦長にバランス良く。
1	1	縦線に垂直に、頭部の角はつけない。
2	2	頭部は丸みをつけ、下線は水平に。
3	3	上下部に丸みをもち、中央部の横線を水平に、左端をそろえる。
4	4	2本の縦線は平行で上は閉じない。交差の右及び下に十分突き抜ける。

標準文字	注意箇所	書き方の注意
5	5	縦線は上に突き出す。中央部の横線は上の横線と水平に、下部は丸く。
6	6	丸は下半分の大きさ、左の斜線に突き出さない。
7	7	左上の角は短くはっきりとつけ、縦線は内側にふくらむ曲線。
8	8	線を連続させて、仕上げはバランス良く丸める。
9	9	上部の丸ははっきりさせて右の直線は斜めにする。

志願者カード記入上の注意

- (1) 記入については、HBのシャープペンシル(0.5^{mm}芯)で正確に記入してください。
- (2) 一度このページで下書きをしてから、提出用志願者カードに記入してください。
- (3) この志願者カードはコンピュータで処理しますので、数字等の記入は記入例のとおり枠内に正確に記入し、汚したり、しわにしたり、折りまげたりは絶対にしないでください。
- (4) 枠内は、絶対に汚さないでください。
- (5) 誤って記入したものは、プラスチック消しゴムによりきれいに消してください。
- (6) 専攻・専修・履修分野コードについては、28ページを参照してください。

一般枠用

[氏名]

志願票に記入したとおり署名してください。

[本学受験番号]

受験票に記載されている受験番号を記入してください。

[大学入試センター試験試験場コード]

大学入試センター発行の成績請求票に記載されている試験場コードを記入してください。

[大学入試センター試験受験番号]

大学入試センター発行の成績請求票に記載されている受験番号を記入してください。

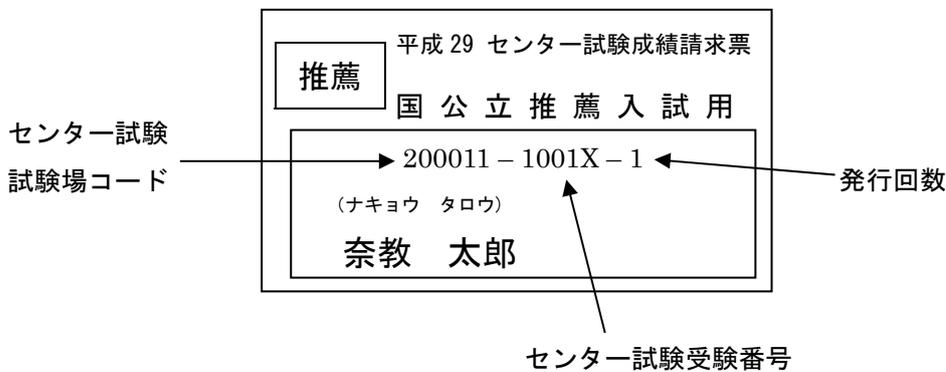
[発行回数]

大学入試センター発行の成績請求票に記載されている発行回数を記入してください。

[専攻・専修・履修分野コード]

志望する専攻・専修・履修分野を28ページの「専攻・専修・履修分野コード表」により記入してください。

【大学入試センター試験成績請求票】



標準文字	注意箇所	書き方の注意
A	Ⓐ	ループははっきり、突き出さない。
B	Ⓑ	上下の突出し。
C	Ⓒ	上下部を丸くあるいは水平に上右端に角をつける。
H	Ⓓ	水平線は真中にはっきり。
K	Ⓔ	交差は一つに。
M	Ⓜ	下方向の開放をはっきり二つ。

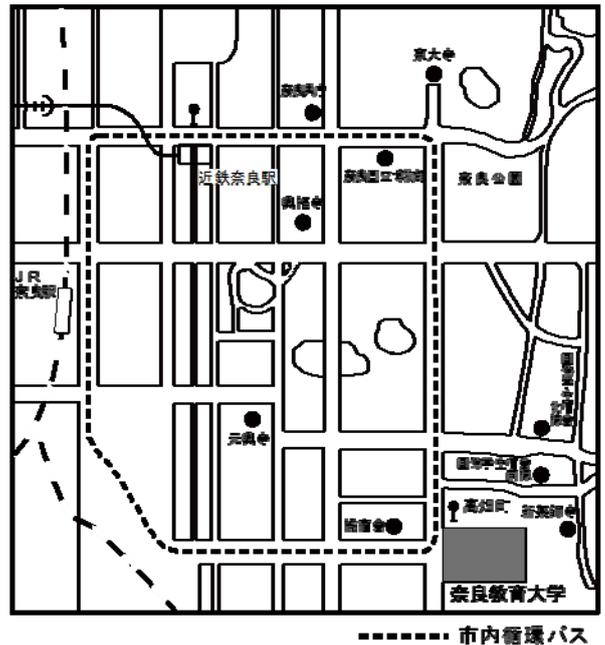
標準文字	注意箇所	書き方の注意
R	Ⓡ	右方向に開放を。
U	Ⓢ	上部は十分にあげる。
X	Ⓧ	左上から右下の斜線は十分にはっきりと。
Y	Ⓨ	上方向の開放をはっきり、交差を中央に。
Z	Ⓩ	中央に長い横線を、また、右方向、左方向に開放を二つ。

Ⅷ. コード表

〔専攻・専修・履修分野コード表〕

	専攻・専修・履修分野		コード番号	
推薦入試 (地域枠)	教育発達専攻	教育学専修		1 1
		心理学専修		1 2
		特別支援教育専修		1 4
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	2 1
		社会科教育専修	初等教育履修分野	2 3
		数学教育専修	初等教育履修分野	2 5
		理科教育専修	初等教育履修分野	2 7
		音楽教育専修	初等教育履修分野	2 9
		美術教育専修	初等教育履修分野	3 1
		保健体育専修	初等教育履修分野	3 3
		家庭科教育専修	初等教育履修分野	3 5
推薦入試 (一般枠)	教育発達専攻	幼年教育専修		1 3
	教科教育専攻	国語教育専修	中等教育履修分野	2 2
		社会科教育専修	中等教育履修分野	2 4
		数学教育専修	中等教育履修分野	2 6
		理科教育専修	中等教育履修分野	2 8
		保健体育専修	中等教育履修分野	3 4
		英語教育専修	中等教育履修分野	3 8

試験場への順路



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約30分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ
 JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学 入試課

電話 0742-27-9126

FAX 0742-27-9145

ホームページ <http://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp